

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年01月13日(木)

事務事業		常備消防施設維持管理事業		担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4505	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	→ 対象拡大 サービス拡充	有 <input type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	
	行計画分野策別名	大項目	200004	安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令 個別計画等	・ 消防力の整備指針				
		中項目	200001	備えができ、安全・安心なまちづくり						
	小項目	200002	消防・救急体制の充実							
事業概要		市民が安全・安心に暮らせるよう、各種法令等に基づき適切に消防施設を維持管理することによって、災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保するものである。								
目的 ※何のために		市民が安全・安心に暮らせるため。								
対象 ※誰・何を対象に		消防施設								
手段 ※どのように		法令に基づく各種定期点検・保守点検を実施し、所管課による定期的な点検を行う。								
成果 ※何を求めるか		災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保する。								
執行体制		■ 市職員    ■ 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（                      ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	09 消防費	01 消防費	03 消防施設費	常備消防施設維持管理事業		46,598,508		
			00	00	00			0		
			00	00	00			0		
			00	00	00			0		
			00	00	00			0		
本事業の 主な業務		・ 電気設備保安管理業務					・ 庁舎清掃業務			
		・ エレベータ保守点検					・ 寝具滅菌乾燥消毒業務			
		・ 特定建築物衛生管理技術者業務					・ 庁舎等補修修繕			
		・ 空調設備保守点検					・ 建物調査の実施			
		・ 消防用設備保守点検					・			
		・ 浄化槽保守点検、清掃業務、法定検査					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			消防分署備品一式（寄居分署）	訓練施設修繕（深谷）			消防本部空調設備改修工事
			受電ケーブル更新工事（花園）	訓練施設修繕（花園）			
			植栽業務委託料（本部庁舎）				
事業費	予算（現額）	33,079,000	75,342,000	55,118,000	49,995,000	52,230,000	93,864,000
	決算額	31,172,614	69,310,230	53,647,365	46,598,508	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	8,593,000	16,794,000	21,007,000	27,608,000	70,754,000
人件費	一般財源	22,579,614	52,516,230	42,018,365	25,591,508	24,622,000	23,110,000
	従事職員数(人)	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85
	人件費相当試算 ※1	6,612,150	6,614,700	6,681,850	6,915,600	6,915,600	6,915,600
		0	0	0	0	0	0
(総事業費試算)		37,784,764	75,924,930	60,329,215	53,514,108	59,145,600	100,779,600

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3. 評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値 実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし	
		年度別目標値の設定根拠										
		実績値の出所・算出式										
■	活動指標 1	施設修繕件数	目標値 実績値	件	15.00	32.00	22.00	23.00	0.00	0.00	■	
		年度別目標値の設定根拠		修繕の件数は、意図的に定めることができないため、目標値を定めることはできない。								
		当該年度実績										
■	活動指標 2	常時稼働施設数	目標値 実績値	箇所	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	0.00	8.00	□
		年度別目標値の設定根拠		消防活動拠点機能を維持するため、常時稼働すべき施設数を目標としている。								
		当該年度実績										
■	成果指標 1	施設稼働日数	目標値 実績値	日	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	0.00	2,920.00	□
		年度別目標値の設定根拠		常時災害に対応するため、8施設の稼働すべき日数を目標値としている。								
		8施設×1年間の日数										
□			目標値 実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
		年度別目標値の設定根拠										
□			目標値 実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
		年度別目標値の設定根拠										
□			目標値 実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
		年度別目標値の設定根拠										

4. 観点別評価 (A: 目標値どおり (以上) B: ほぼ目標値どおり C: 目標未達成 - : 目標値の設定がないもの)

活動 (意図した活動を行っているか)	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 消防活動拠点機能を維持するため、定期的な目視点検を実施するとともに、施設等に不具合が発生した際には、市民影響や緊急性の高さなどから優先順位を定め効率的な修繕を実施することができた。
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 機能維持に欠かすことのできない設備の修繕を効果的に実施したことで、すべての常備消防施設を通年稼働させることができた。
効率性 (効率的に事務を行っているか)		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
評価者		課長補佐兼施設係長 飯野昌栄

5. 前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	消防活動拠点機能を継続的に維持するため、竣工から31年が経過する花園消防署の大規模改修について検討する。また、竣工から15年が経過する消防庁舎の電気・機械設備は、部品等の調達が困難となり修繕ができない設備があるため、更新を含めた検討を行う。
達成状況 及び その効果	花園消防署の機能を維持した大規模改修方法を検討することが出来た。様々な改修方法を検討する中で、新たな課題等の抽出ができた。

# 事務事業評価表

## 6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	常備消防施設維持管理事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4505
<div> <div> ■ ① 現状のまま継続  <input type="checkbox"/> ② 見直して継続  <input type="checkbox"/> ③ 拡充・重点化（コスト投入）  <input type="checkbox"/> ④ 目的達成による終了  <input type="checkbox"/> ⑤ 廃止を検討 </div> <div> <input type="checkbox"/> 委託化等の検討  <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善  <input type="checkbox"/> 効率化のための改善  <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小  <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合 </div> </div>			<div> <div>評価の内容説明</div> <div> 消防活動拠点となる消防施設の機能を維持管理するため、定期的な点検を行い不具合が発生した場合には必要に応じて修繕を行う必要がある。今後も消防施設の維持管理を継続して実施し災害発生時における災害活動拠点としての即応体制を維持、確保する。 </div> </div>				
<div> <div>上記を実施するための具体的な取り組み内容は？</div> </div>			評価者	次長兼消防総務課長 齊藤新一			

## 7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	<p>花園消防署及び上柴分署は、一部屋に複数のベッドを配置した集合型仮眠室となっており身体的距離が確保できていない状況である。そのため、職員の中に新型コロナウイルス感染者が発生した場合、職員間で更なる感染が拡大する恐れがある。既に大規模改修時期に達している花園消防署及び上柴分署の改修工事は構想段階であり、具体的な改修方法や実施時期などの方針を決定するためには一定の期間が必要となることから、消防業務継続のため「新しい生活様式」に対応した早急な対策が必要である。</p>
--------	---

## 8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	<p>消防施設の大規模改修や設備の更新など、大幅な予算の増加が見込まれるため、計画的に実施する必要がある。今後は、構想段階である花園消防署及び上柴分署の大規模改修の具体化を推進していく。</p>
-------	---

## 9. 評価指標グラフ

